

# ほちほちいか

2020年7月16日

桜井谷小学校

5年図工通信 第3号

発行者：古田 みちる

## MY NAME IS OO!!!

4週間かけて仕上げた作品「MY NAME IS OO!!!」がついに完成。自分の名前に入っているひらがなから始まる言葉を考え、その言葉たちを組み合わせて1つの絵を仕上げます。イメージがわかりにくいかな？と少し心配していましたが、「OOとOOを組み合わせて、ここにOOを描く」などとレイアウトを考える姿に感心しました。子どもたちにとって苦戦するポイントは、「頭の中にイメージしている描きたいものやレイアウトを絵に表すこと」です。なので、図書館や家の本、使える子はインターネットなどを使って描きたいもの（動物や物）のサンプルを用意しておくように伝えていました。「犬」を描きたいと思っていても描き方は人それぞれ。犬にマスクをつけさせたり、犬が座って正面を向いていたり…。自分がイメージするレイアウトに合わせて見本となる絵を用意するという宿題をきっちりしておくことで実際に本番描きをする時により描きやすくなるのです。「上手く描けない！」「思ったより小さくなってしまう！」とつぶやきながらも最後まで一生懸命頑張りました。

今回は自分でつくった絵に自分で色塗りをしていく作品でしたので、色塗りをする時に意識をしてほしい「濃淡」と「混色」を練習する為に、「こんぺいとう」と名付けた色相づくりにも挑戦しました。とは言え、色の見え方は人それぞれ。「これは赤色」「これは紫色」と決めつけてしまうのではなく、このような色相が存在し絵の具で色づくりをする時と同じように色鉛筆でもそのような色

作りができるのだということを知ってほしいと思い取り組みました。画用紙にぐるぐると何重もの円を描き三角形を4つ重ねると不思議な形が。こんなところに色をつけていって見本のようなこんぺいとうが出来上がるの！？と驚く子どもたちでしたが、少しずつ色を重ねていく度に色が混じり新たな色ができることに目を輝かせている子もいました。このこんぺいとうで作ることができた色を実際の色塗りで活かすことで、同じ「赤」でも濃さや淡さを表現できたり「紫のような赤」や「青のような紫」という色をつくり出したりすることができるのです。この色塗りにこだわるところが高学年の色塗りです。

ぜひ、完成した作品に隠れた友だちの名前を見つけて楽しんでほしいです。



次回で、1学期の図工は最後です。2学期にも、皆さんと楽しく作品作りができるのを楽しみにしています。

